



学校だより

2月号

横浜市立六つ川台小学校
平成27年1月30日

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

「まち」の皆様とともに

学校長 柳澤 潤

正門の梅の花が、今にも咲きそうです。毎日飛んでくるメジロも、なんだかうれしそうに見えます。厳しい寒さが続きますが、たしかな春の訪れが感じられます。

学校では、タグラグビーの早朝練習が続いています。4・5・6年生の参加希望者が、2月7日の「横浜市立小学校タグラグビー交流会」（会場は横浜スタジアム）を目指して、校庭でパスや練習試合をしています。風が強いときには、さすがに凍えそうですが、子どもたちはかけ声をかけながら、元気に練習をしています。

朝のあいさつ運動は、いつもの運営委員のお兄さんお姉さんに加えて、1月末から低学年の有志が加わりました。「おはようございます」の声が、少し高い声で響くようになりました。朝の正門が、また一段とにぎやかになりました。「おはようございます」の気持ちのよい一日のスタートを、大事にしていきたいと思っています。

1月26日には、第2回『「まち」とともに歩む学校づくり懇話会』をさせていただきました。例年、給食を食べていただきながら、貴重なご意見をいただく場になっています。委員のAさんは、「朝、ラジオ体操で集まっているみんなに、今日は学校で給食を食べてくるんだ、と自慢してきたよ」とうれしそうに話してくださいました。私は、学校の調理員さんが、給食に出るごまの一粒一粒も目で点検し、異物混入に最大の注意を払っていることなどをお伝えしました。米飯が多いこと、メニューが多いことも話題になりました。食事後、保護者アンケートの集計結果などについて説明をさせていただき、行事に対する保護者アンケートのご意見なども報告させていただきました。ここで、委員の皆様からいただいたご意見を紹介します。

- ・いろいろな子どもが発表する。楽しそうな子も緊張している子も、男子や女子、1年生や6年生も。学習の発表の機会が多くなるように工夫されている。どの子どもも、それぞれに発表する姿がうれしい。
- ・中には、発表がいやだと思う子どももいるだろう。一人一人に対する配慮は必要だ。
- ・大丸、パークタウンなど、子どもが地域のお祭りに参加して、発表する機会が続いているのもうれしいことだ。
- ・卒業式でも、児童一人一人が一言ずつ抱負を言う場面は、いい試みだ。人前で話すことは、自信につながる。
- ・有料のメール配信を利用して、もっとメールを活用することもよいのでは。
- ・体育館で、プラレールのイベントが毎年行われている。今年度は、1月17日に実施され、11町内会から170名の参加者があった。
- ・まちのボランティアを組織して、もっとたくさんの人に協力してもらおうことを考えたかどうか。サポーターになってくれる方は、たくさんいるのではないかな。

学校の子どもたちを応援してくださる、温かい言葉が続きました。よく見ていただいていること、気にかけていただいていること、応援し続けていただいていることにあらためて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

卒業まであと、35日。「まち」の皆様の期待を受けて職員一同、力を合わせていきます。引き続きのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いたします。